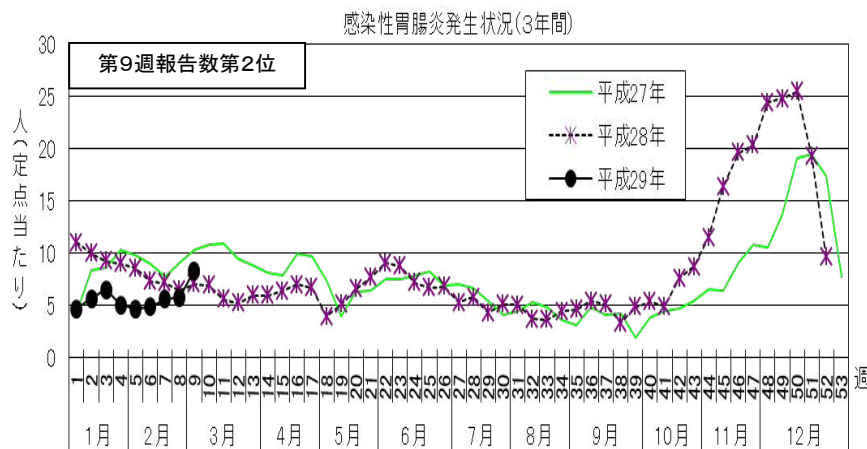
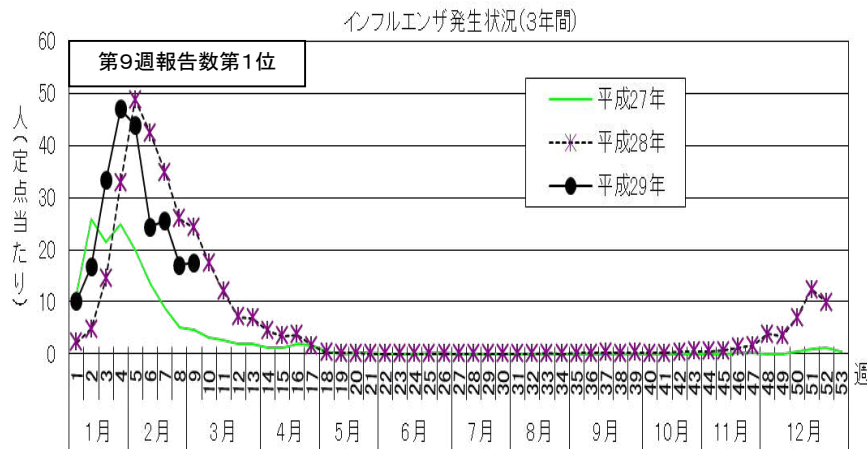


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年2月27日（月）～平成29年3月5日（日）〔平成29年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は17.53人と前週（16.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.33人と前週（5.75人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.53人と前週（2.00人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

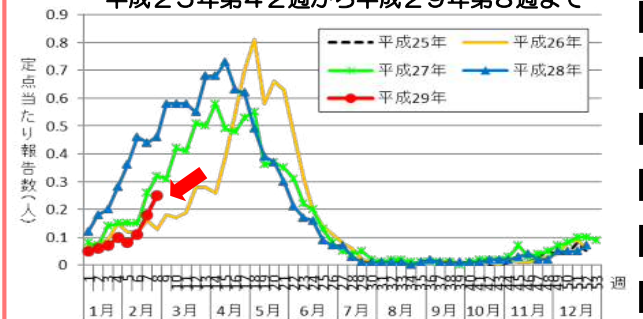


春先も気を付けましょう！！感染性胃腸炎（ロタウイルス）

例年、感染性胃腸炎のピークとなる11月から1月は、ノロウイルスを原因とする胃腸炎が多くみられますが、3月から5月にかけてはロタウイルスによる小児の胃腸炎が増加します。現在、全国的にもロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎の報告が増えています。

我が国においては、ロタウイルスによる胃腸炎の重症化を予防するため、生後6週以降のお子さんにワクチンを接種（任意接種）することができます。

全国における感染性胃腸炎（ロタウイルス）発生状況
 - 平成25年第42週から平成29年第8週まで -



感染性胃腸炎（ロタウイルス）

- 感染経路
経口感染
(感染力が強く、10～100個のウイルスで感染が成立)
- 潜伏期間
2～4日間
- 主な症状
水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛
- 合併症
脱水、けいれん、脳症、急性腎不全、心筋炎、肝機能異常など
※意識の低下やけいれん等の症状がみられたら、速やかに医療機関を受診しましょう。



ロタウイルスワクチン(任意接種)

種類: 1価及び5価ロタウイルス生ワクチンの2種類
 対象: 1価…生後6週～24週(2回接種)
 5価…生後6週～32週(3回接種)
 ※両ワクチンともに、初回接種は生後14週6日まで(15週未満)に行うことが推奨されています。